

「スイッチOTC」って知っていますか？

薬剤部長 山田 喜広

今から10年以上前、テレビで大々的に新発売のコマーシャルをしていた「ガスター10」という薬をご存知でしょうか？

この薬は胃痛、むねやけなどに非常に高い効果を表します。同じ薬の「ガスター錠10mg」は、医師が診察した後、処方せんに書いてもらわないと薬局では出せない薬で、今でも病院などの処方せん薬として広く使用されています。

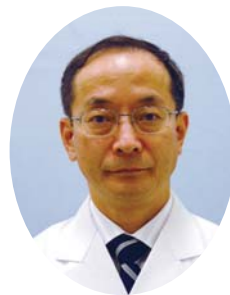
では、どうして処方せんなしで販売できるようになったのでしょうか。これには今日の医療費高騰が大きく影響しています。医療費を少しでも圧縮するためと、自分で治せる病気は病院にかからず自分で治すといういわゆるセルフメディケーションを推し進めようとする国の方針に沿ったものです。この方針は1985年ころから

推し進められ最初は水虫薬、解熱剤、から始まり前述の「ガスター10」が1997年に登場しました。今世紀に入ってからさらに第二世代の水虫薬「テルビナフェ

ン」や禁煙補助薬が使用できるようになり、今年はどうも最も名の知れた処方せん薬の鎮痛剤「ロキソニン」が市販されました。

このように処方せん薬品の中から使用実績があり、副作用の心配が少ないなどの要件を満たした医薬品を薬局などで処方箋なしに購入できるよう、厚生労働省が市販薬として認可したものを「スイッチOTC」と言います。「スイッチ」とは処方せん薬を市販薬としても使えるように切替えることで、「OTC」とはオーバー・ザ・カウンターの略で薬局のカウンター越しに直接患者さんが購入できるという意味です。メリットは、医師の処方せんが不要なため、診察や調剤の待ち時間が不要です。ただし、処方せん薬より割高で、健康保険も使えません。

効き目の強いこれらの薬を使っても症状が改善しない場合は、早めに医療機関を受診されることをお勧めします。



やさしい 疾患手帳

テニス肘

整形外科 牧野 絵巳



Profile プロフィール

まきの えみ 氏名/牧野 絵巳

- 所属…整形外科 ● 専門分野…手の外科
- 自己PR…わかりやすい説明を心がけています。
- 星座…おひつじ座 ● 血液型…A型

テニス肘とは、手首を動かした際に肘の外側に痛みが出現する病気です。日常生活の動作の中では、特に、タオルを絞ったり、ポットのお茶を注いだりするときに痛みを感じる方が多いようです。テニス肘という名前がついていますが、テニスをする人だけになる病気ではなく、中年以降の、手を頻繁に使用する仕事をされている方、主婦の方に多く起こります。最近、パソコン作業を長時間されている方にも多く見られます。

この病気は肘の骨の外側にくっついている手首や指を伸ばす筋肉が、手首や指を動かすことによって傷むために起こります。骨には異常がないため、レントゲン検査では異常が認められないことがほとんどです。

治療法はいくつかありますが、まずは安静がもっとも大事です。使いすぎによって起こる病気ですので、痛みがでるような作業を避けることが一番有効

なのです。1ヶ月程度は安静を続ける必要があります。安静のみで良くならない場合には、①湿布や軟膏などの鎮痛剤の使用、②バンドなどを使用する装具療法、③注射 などの治療を追加します。

日常生活の動作が原因なので、症状が長く続く方も多い病気です。自分もテニス肘かも？と思われる方は、一度整形外科外来を受診してみてください。



研修医 紹介

おおはら かずと 氏名/大原 和人



- 出身大学…藤田保健衛生大学(2009年卒)
- 患者さんへのメッセージ…

『こんにちは。八月より新たに浜松日赤病院にて御世話になることとなりました研修医の大原和人です。病気のことから個人的な悩み、はたまた夕食の献立といったような事まで気軽に相談できるような身近な存在としての医師を目指しております。なので、院内で見かけた時には気軽に話しかけていただくと幸いです。まだまだ未熟な身であり、頼りない部分もあると思いますが、先輩先生方のご指導を仰ぎながら、日々努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。』

新たに認定看護師2人が誕生

～安全で安心できる医療を目指して～



当院では、今年度、新たに2人の認定看護師が誕生しました。

これで認定看護師は6人となり、3年間で認定看護師の人数が倍になりました。

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と専門知識を有することを認められた日本看護協会の認定審査に合格した者で、全国で9,047人います。

今回、新たに認定を受けた看護師は、佐藤徳子(認定看護管理者:5東病棟看護師長)と鈴木こなみ(感染管理認定看護師:感染対策室)で、看護管理者としての立場から医療の適正化を図る業務や院内の感染を防止する業務を担当し、認定看護師を中心としたチーム医療を実現していきます。

佐藤徳子看護師長は、認定看護管理者の研修を終えて、『研修前と研修後では、視野が大きく広がりました。看護師と他職種との橋渡しの存在になれたらいいな』と感想を述べられました。また、鈴木こなみ看護師は、『感染防止の基本は手洗いです。より多くの手洗い研修を行い、今以上に感染防止に対する認識を高めたい』と抱負を語りました。

現在、認定看護師を目指し、日々勉強している看護師が複数います。ますます認定看護師が増え、患者さんにとってより質の高い医療・看護が提供できるよう努めていきます。



佐藤徳子 認定看護管理者



鈴木こなみ 感染管理認定看護師

「納涼祭」のご案内



当院では今年も、地域住民の方々との交流を深めるため、納涼祭を行います。

抽選会や子どもおみこし、職員による出店などみんなで楽しめるイベントを用意しています。お気軽にお越し下さい。

- 日 時：平成23年8月5日(金) 午後5時30分～午後8時 ※雨天中止
- 場 所：浜松赤十字病院 フロントガーデン(病院東側)

